

2018/19 年度 第 1 回理事会 議事録

日時： 2018 年 11 月 3 日土曜日 14 時－18 時

会場： 東京大学理学部 1 号館 331 室

出席予定者： 日高道雄，藤田和彦，梅澤有，灘岡和夫，山野博哉，茅根
創（以上理事），野中正法，鹿熊信一郎（以上監事），久保
田賢（事務局）

議題（案）

（1）2017/18 年度事業報告・決算について（資料 1，資料 2）

事前に各理事より提示された資料に基づき，事業報告の内容や様式について議論を行なった。内容については，一部の記入漏れの追加含めて概ね了承されたが，様式については，各項目に理事の業務所掌名だけでなく委員会名まで記載することとなった。決算資料については，業務委託している税理士側の方で詳細な記載内容の確認作業が遅れ，最終版の資料が提出されなかったが，2018 年 10 月 25 日の事業・会計監査時に決算資料の内容や様式について，大きな問題がないことが確認されたことが監事より報告された。任意団体の解散時に受取寄付金として引き継いだ正味財産については 40 万円弱の減少となり，第 20 回大会時の記念行事として実施された公開シンポジウムの実施経費が 60 万円程度であったことなどを考慮すると，概ね収支のバランスが取れた運営であることが確認された。しかしながら，実施事業については予算に対して執行額が少ないものもあったことから，次年度予算については適切に計上することが肝心であることが確認された。

（2）2018/19 年度事業計画・予算案について（資料 3，資料 4）

事前に各理事より提示された資料に基づき，事業計画の内容や様式について議論を行なった。提案された一部の事業について，中長期的な継続性や本会で実施することの意義について疑義が出されたが，2018/19 年度の事業として予算や体制について実

施可能性が高いことや学会として重要なテーマであることから、予定通り事業計画に加えることとなった。2017/18年度の事業計画の様式では「重点課題」に事業計画と重複する記載があったが2018/19年度の事業計画案では、初めに方針のみを示すこととし、詳細は「事業計画」欄に記載することとなった。

2017/18年度決算の詳細な資料が理事会資料として初めて配布されたことから、予算案については既に各理事より提出された額について再検討して、計上することとなった。

(3) 第1回代議員総会の招集と議案について

2018年11月22日(木)17時より代議員会が開催されることから、11月6日(火)に代議員会総会資料とともに開催通知を発送すること、議題については2017/18年度事業報告および決算、2018/19年度事業計画および予算案であることが確認された。

(4) 大会時の「意見交換会」の持ち方および役割分担について

学会運営について代議員と十分な情報共有ができていないという意見を受け、11月23日(金)13時~14時に開催される意見交換会について、検討する話題について協議した。2019年に実施予定の次期会長、理事および代議員選挙のあり方や国際連携の方向性については、本理事会の事業計画に関する議題でも取り上げられたことから、意見交換会を利用して説明するとともに意見を聴取すること、その他にもこれまでに汲み取れていない意見を求めることとなった。

(5) 大会時の公開シンポジウムの進行および役割分担について(資料5)

講演者の順番を決定(栗原、鹿熊、山野、灘岡の順)。学会誌の特集への掲載を予定しているので、必要部分(パネル討論?)は録音する。

総合討論のパネルとしてすでに環境省へ依頼し、石垣自然保護官事務所からの参加承諾を得られていることが紹介され、それ以外にもJSTもしくはJICAへ依頼することとなった。後援について、外務省から最後の承認通知が送付される見通しとなっていることから、早急に電子ファイルでポスターを作成し、関連各所へ案内することとなった。

(6) 学会各賞の授賞者および授賞式について (資料 6, 資料 7)

川口奨励賞については、選考委員会の推薦するアゴスティニ・シルバン氏への授賞が承認された。

論文賞については、選考委員会から推薦された英文誌、和文誌各 1 編の論文への授賞が承認された。論文賞選考がしばらく行われなかったことから、それを補償する手立てに関する選考委員の意見が付けられていたことから、「今回の選考の対象期間が 2011-2017 と長く、対象論文数も多いこと、この間に論文賞の選考が行われなかったことを考慮し、選考委員会が今回の評価に基づき追加推薦することを決定した場合には、英文誌、和文誌それぞれ最大 3 編 (追加 2 編) まで推薦を受け付ける」こととした。

川口奨励賞の受賞講演を 10 分とし、論文賞、保全奨励賞の授賞式も同時に行う。保全奨励賞受賞者には一言コメントをもらう。意見交換会の時間を短縮し、授賞式の時間を延長することについて大会実行委員会に依頼することとなった。

(7) 発表賞選考体制および選考基準に関する申合せについて (資料 8)

発表賞については細則に記載があるが、具体的選考方法・選考基準についての申し合わせ案が茅根理事より報告された。

(8) 役員・代議員選挙日程および仕組みについて (資料 9)

前回の理事会での議論を踏まえ、代議員の半数改選制の仕組み、代議員総会による会長候補者推薦の仕組み、代議員総会における理事候補者 2 名の互選の仕方、についてより簡潔にした選挙実施案が日高代表理事より説明された。意見交換会において代議員・会員の意見祖聴取をすることとした。

(9) 学会誌著作権規程策定の基本方針とスケジュールについて (資料 10)

基本方針案とスケジュール案について藤田理事より説明があった。著作権に関する同意書の

(10) 和文誌賛助会員広告のカラー有料化について

賛助会員について、白黒の広告は無料であるが、カラー広告については希望があれ

ば有料で受け付ける案が報告された。

(11) 和文誌の表紙裏に役員名を記載することについて

和文誌の裏表紙に役員名を記載することについて意見聴取をした。

(12) 学会基盤安定化のための取組みについて

(事業報告、事業計画の際に意見も出たこともあり、時間切れのため省略。)

(13) その他

次回大会開催地について、静岡大学での次回大会の可能性について、来年の本学会会員の常勤教員数など情報交換をした。静岡大学での開催が難しい場合は東大での開催の可能性も考慮する。